

第5回 東北復興 i-Construction 連絡調整会議を開催(H29.9.22)

ICT活用工事の普及・拡大を図るため、第4回会議で出された主要な課題に対する対応案について意見交換を実施。会議に先立ち、ICT活用工事の状況を直接確認頂くため、北上川下流河川事務所管内にて現地視察を実施した。



◆ 出席者(約40人)

【国土交通省】大臣官房技術調査課、東北地方整備局

【地方公共団体】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市

【業界団体】東北建設業協会連合会、日本建設業連合会東北支部、
日本埋立浚渫協会東北支部、日本建設機械施工協会東北支部、
建設コンサルタンツ協会東北支部、東北測量設計協会、
東北地質調査業協会、日本建設機械レンタル協会東北協議会、
日本道路建設業協会東北支部

【現地視察(旧北上川左岸魚町上流地区築堤工事)】

北上下流事務所より工事概要説明



3DMCブルを用いた法面敷均し



丁張り無しで法面施工も可能

3DMCブルドーザを用いた敷均



3DMCバックホウを用いた法面整形

仕上げ作業のみで効率化



◆ 視察技術

- ◇3DMCブルドーザを用いた敷均し、法面敷均し
- ◇TS締固めローラを用いた締固め
- ◇3DMCバックホウを用いた法面整形

◆ 会議

◇主要な課題

- ①発注者、施工者、コンサル等の人材育成及び地域単位の情報共有が必要
- ②中小規模工事ではICT施工によるメリットが出にくい(機械の不稼働日等により機械経費が割に合わないなど)
- ③安定したICT工事の動向が明確で無いため設備投資がしにくい
- ④ICT建設機械等の確保が担保しにくい

◇対応案の提案

- ①県単位での意見交換会の設置
- ②ICT活用工事の発注見直し・実績の見える化

会議の様子(北上下流事務所会議室)

